

第3回日本DOHaD研究会学術集会 開催概要

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本DOHaD研究会 公開日: 2014-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日本DOHaD研究会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2762

第 3 回日本 DOHaD 研究会学術集会 開催概要

初日：7 月 25 日 (金)

- 9:00～ 受付開始
- 9:55～10:00 学術集会長あいさつ 久保田健夫 (山梨大学)
- 10:00～10:30 基調講演
エピジェネティクスと GWAS からみた DOHaD 最近の進展
福岡 秀興 (早稲田大学)
- 10:30～11:00 教育講演 I
”先制医療“の概要と関連する主な施策動向等
辻 真博 ((独) 科学技術振興機構)
- 11:00～11:45 特別講演 I
医療の未来と DOHaD 研究への期待
井村 裕夫 ((公) 先端医療振興財団)
- 12:00～12:30 記念写真
- 12:30～13:30 ランチョンセミナー (共催: JCR ファーマ社)
Early life environmental determinants of allergic disease:
the biodiversity hypothesis and the microbiome
Ruby Pawankar (日本医科大学)
- 14:00～15:00 特別講演 II
DOHaD: meeting the global challenge of non-communicable disease
Mark Hanson (英国 Southampton 大学)
- 15:00～15:30 教育講演 II
代謝性腎臓病とエピジェネティクス
伊藤 裕 (慶応大学)
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:15 優秀演題賞口演
ベナー聖子 (東京大学)
大久保清美 (国立保健医療科学院)
- 16:15～16:45 休憩
- 16:45～17:45 ポスター発表 (奇数番号)
17:45～18:45 ポスター発表 (偶数番号)
- 18:45～19:00 ポスター投票
- 19:00～21:00 懇親会 (国立成育医療研究センター12 階食堂「つばさ」)

2 日目 : 7 月 26 日 (土)

8:30~9:30 幹事会

9:00~ 受付開始

10:00~10:30 学術集会長講演 これからの DOHaD 研究~エピゲノムの見地から~
久保田健夫 (山梨大学)

10:30~12:15 シンポジウム I
先制医療を見据えたエピジェネティクスに基づく DOHaD 研究

- 1 胎盤における環境エピゲノム変化とその医療活用
秦 健一郎 ((独) 国立成育医療研究センター)
- 2 胎児期ストレスとエピジェネティクス変化
平澤孝枝 (山梨大学)
- 3 授乳期のエピゲノム変化とその医学応用の可能性
小川佳宏 (東京医科歯科大学)

12:30~13:30 ランチョンセミナー (共催: ステムセル研究所)
さい帯血を用いた再生医療により DOHaD (新生児脳障害) は改善できるか?
清水正樹 (埼玉県立小児医療センター)

14:00~16:00 シンポジウム II 先制医療をみすえた栄養学分野の DOHaD への取り組み

- 1 DOHaDにおけるタンパク質栄養
加藤久典 (東京大学)
- 2 DOHaD の観点から考える乳児栄養
木ノ内 俊 ((株) 明治 食機能科学研究所)
- 3 DOHaDへのアミノ酸研究の応用
坂内 慎 (味の素 (株) イノベーション研究所)
- 4 生活習慣病バイオマーカーを活用したDOHaDへの先制医療
合田敏尚 (静岡県立大学)

16:00~16:30 総会
優秀演題賞と優秀ポスター賞の発表と表彰状授与
閉会式

ポスターインデックス

- P-01 妊婦の摂取栄養が子どもの脳と精神に及ぼす影響
秋武 義治(国立循環器病研究センター研究所・生化学部)
- P-02 脂肪蓄積関連遺伝子のエピジェネティックな抑制に基づく脂肪蓄積の抑制の検証
井上 拓哉(山梨大学大学院・医学工学総合教育部・生命工学専攻)
- P-03 短期間の高グルコース刺激がヒト単球様 THP-1 細胞の炎症関連遺伝子の発現に及ぼす影響
今井 千裕(静岡県立大学大学院・薬食生命科学専攻)
- P-04 知的障害児の増加と出生時体重ならびに母年齢との関連
岡本 悦司(国立保健医療科学院)
- P-05 安定同位体： $^{15}\text{N}_2\text{-L-}$ トリプトファンを用いた *in vivo* トレーサー実験法の確立
佐野 光枝(滋賀県大・生活栄養)
- P-06 伝統的日本食が母親を介して子供の健康状態に与える影響
都築 毅(東北大学大学院・農学研究科)
- P-07 出生後早期の体重増加が膵消化管ペプチドホルモン産生に与える影響
—マウスを用いた検討
杜 沁文(三重大学大学院・医学系研究科・生殖病態生理学講座)
- P-08 マウスの人工飼育による情動変化に関する研究
原馬 明子(麻布大学・生命・環境科学部・海洋素材機能解析研究室)
- P-09 視床下部におけるインスリン抵抗性が肝臓での糖代謝を変化させ
高血糖を引き起こす機構の解析
深見 達弥(飯塚病院・産婦人科)
- P-10 出生児低体重モデルにおける、冠循環形態の変容
有馬 勇一郎(熊本大学・循環器内科)
- P-11 食習慣の地域差が母乳中、脂肪酸含量に影響を与える
山城 雄一郎(順天堂大学大学院・プロバイオティクス研究講座)
- P-12 マウスモデルを用いた DOHaD 検証系の確立：仔の行動表現型、遺伝子発現、
ゲノムメチル化に関する網羅的解析
古瀬 民生(理研 BRC 日本マウスクリニック)
- P-13 妊娠中の母親の食事グライセミック・インデックス (GI) およびグライセミック・ロード (GL) と
幼少期の子どもの体組成との関連：Southampton Women's Survey
大久保 公美(国立保健医療科学院, MRC Lifecourse Epidemiology Unit, University of Southampton, UK)
- P-14 ベトナムにおける周産期ダイオキシン暴露の 5 歳時脳神経発達に与える影響
小沢 京子(富山大学医薬学大学院・システム情動科学)
- P-15 国際比較を目的とした DOHaD に関する認識についての質問票の作成
小山田 正人(藤女子大学・人間生活学研究科・食物栄養学専攻)

- P-16 仔マウスにおける胎児期～乳児期のディーゼル排ガス由来二次生成有機エアロゾル曝露が嗅覚に基づいた空間学習能力に及ぼす影響
Tin-Tin Win Shwe(国立環境研究所・環境健康研究センター)
- P-17 離乳期の低栄養による小腸糖質消化吸収関連遺伝子の食事に対する応答性の変化
藤井 貴子(静岡県立大学大学院・薬食生命科学総合学府・食品栄養科学専攻)
- P-18 非妊時BMIおよび妊娠中の体重増加量と出生体重に関する検討
佐藤 雄一(産科婦人科館出張・佐藤病院)
- P-19 胎生初期栄養変化が引き起こすマウス成体臓器遺伝子発現パターンの早期変動
佐藤 憲子(東京医科歯科大学・難治疾患研究所)
- P-20 母胎間LIF-ACTH-LIFシグナルリレーによるinsulin-like growth factorを介した神経幹/前駆細胞の増殖作用
島田 ひろき(金沢医科大学・医学部・解剖学)
- P-21 妊娠初期HbA1c値および空腹時血糖値と妊娠糖尿病発症との関連の検討 (TWC Study)
谷内 洋子(山梨学院大学・健康栄養学部)
- P-22 周産期ダイオキシン曝露による成熟後の神経内分泌ストレス応答機能異常
ベナー 聖子(東京大学大学院・医学系研究科・健康環境医工学部門)
- P-23 東北メディカル・メガバンク事業 三世代コホート調査の進捗について
目時 弘仁(東北大学・東北メディカル・メガバンク機構)
- P-24 乳幼児期の体重増加と学童期のインスリン抵抗性との関係に関する系統的・探索的解析
市川 剛(獨協医科大学・小児科)
- P-25 妊娠中イベントの世代間継承についての検討-糖代謝異常について-
佐藤 志織(国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター)
- P-26 エコチル調査・宮城ユニットセンターにおける妊婦の医薬品使用状況の評価
—宮城ユニットセンター薬剤詳細調査より—
西郡 秀和(東北大学大学院・医学系研究科・環境遺伝医学総合研究センター)
- P-27 本邦母体のビタミンD充足状況と幼児期までの児への影響
山本 晶子(国立成育医療研究センター・内分泌代謝科)
- P-28 新規行動解析システムによるマウス集団飼育環境下における他者との関係形成の解析
宇治田 和佳(東京大学大学院・医学系研究科・健康環境医工学部門)
- P-29 X染色体不活性化機構を指標とした脳神経系へ及ぼすベンゾ[a]ピレン胎仔期曝露の影響解析
熊本 隆之(奥羽大学・薬学部)
- P-30 父母の出生体重と子供の出生体重の相関について
田尻下 怜子(東京医科歯科大学・生殖機能協関学)
- P-31 血中PCB濃度と食事調査 (FFQ) の関連性について
大竹 正枝(千葉大学・予防医学センター)

- P-32 東日本大震災における災害時の胎内環境が次世代に遺す要因
吉田 穂波(国立保健医療科学院・生涯健康研究部)
- P-33 妊娠マウスにおける葉酸過剰が新生児に及ぼす影響
金高 有里(酪農学園大学・農食環境学群・食と健康学類・管理栄養士コース)
- P-34 妊婦の妊娠期体重増加量と胎盤エピゲノム変化
河合 智子(国立成育医療研究センター研究所・周産期病態研究部)
- P-35 レセプトデータに基づく妊娠中の医薬品使用と児の先天奇形との関連に関する検討
小原 拓(東北大学・東北メディカル・メガバンク機構・予防医学・疫学部門)
- P-36 妊娠中イベントの世代間継承についての検討 -妊娠高血圧症候群について-
三戸 麻子(国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター)
- P-37 母体免疫活性化は大脳皮質形成に働く母胎間 LIF/ACTH/LIF シグナルリレーを抑制する
塚田 剛史(金沢医科大学・脳神経外科)
- P-38 ” DOHaD 型シナプス症 ” --自閉症など発達障害、統合失調症、うつ病など精神疾患の
発達期環境要因と発症メカニズム
黒田洋一郎(環境脳神経科学情報センター)